

広報モニターアンケート【12月号】

○今月号の内容について

ページ	コーナー名	調査内容・ご回答
/	全体について	1. 12月号の中で、一番興味を引いた記事は何ですか
		a 市政トピックス ……1人 b 特集……4人 c ふおと☆かしば……2人 d イキイキ！香芝っ子……2人
		e 市民ペンリレー……1人 f パパッと簡単朝ご飯……0人 g 香芝検定……0人

2. その記事が一番興味を引いた理由を自由にお書きください

全体について

- ・[a]二上山博物館が岩宿博物館と石器研究などで連携して行うことと学校とも連携で郷土学習に取り組むということ。博物館と学校が相乗効果でより発展し社会貢献へと活動の幅も広がっていく将来性に期待する。
- ・[b]棒グラフや円グラフで分かりやすかった。
- ・[b]歳入及び歳出の状況がわかった。
- ・[b]実際に住んでいるところのお金の動きはやっぱり知っておくべきだと思うから。
- ・[b]マイナスの意味で関心。本質的なところで気になる点が多かった。条例規定とはいえ、今どき「25年度決算」とは…。会計処理の年度サイクル、議会審議も進行中…ということだろうが、感覚的には“済んでしまった遠い昔話”に近い。今さら広報紙で大きな数字を示されても、どう受け止めればいいのか戸惑ってしまう。
「これで、財政の全体状況・個別状況を推し量ってね…」とでも言うのか。限界があるとしてもこれでは不親切。この数字情報が市民にとってどんな意味があると考えて掲載しているのだろう。そこが的確に示せないなら、まさしく“掲載実績を残すための免罪符報告”となる。前年どおり…も極めつけ、というほかない。事業計画と予算の適正度。適切な事業実施だったのか、その評価と課題はどうだったのか、このコメントでは判断のしようがない。特に大きく膨らんだ経常経費・項目の実態と課題認識は何も見えてこない。
「指標でチェック」は、財務知識のない者にはチンプンカンプン。この図表が何を意味して、どういう状況でどう考えればいいのか、肝心なところの補完がない。難解極まりない内容でも規定に従って前年どおり。報告自体が目的化している。その感覚が分からない。報告は目的ではなく“手段”である。目的は…？市職員の何%がこの図表の意味と実態を正確に理解して業務に携わっているのだろうか。
「26年度上半期の予算執行状況」、この数字と表が市民にとって“今”何の意味があるのか全く不可解。これも条例？ならば、条例が“マト”を得てないのか、それとも当局の条例解釈間違いで、掲載内容と方法が未熟なのか、研究不足の累積なのか。毎年同じことが繰り返されている。この数字がいま必要なのは、予算管理担当／財務当局と各部経理担当であって、市民には執行状況など必要のない話。公表するなら事業計画の進捗状況と併せた説明が必要で、全く意味のない“役所のポーズ・形式的な数字報告”と言わざるを得ない。こういう不可解な事柄が行政情報として、しかも“特集”で組まれることの不合理性に気付かなければ、いつまで経っても広報「かしば」に未来と発展はない。他市でも同じようにしている…なんてことは言わないでほしい。香芝市独自の「市民に分かる内容」での報告を工夫研究して、手本を示せばいいだけのことである。
こんな忠言など誰もしない。無関心を生む元凶にもかかわらず、日々の暮らしには何の役にも立たないことだから…と。そういう市民の無関心の素が、市の、積年のこの姿勢に負うところ大、ということにも気付こう。その責任の大きさは拭いようもない。モニター員の責任としてあえて苦言を呈しておく。「来年も同じことが繰り返されるとすれば、それは広報担当者としては恥ずかしいこと」と肝に銘じてほしい。
- ・[c]2ページ両開きで掲載されており、写真と文字の配置が良かった。特に写真が大きくなってとても見やすく、行事の状況がよく描写されていた。
- ・[d]行政ネタがほとんどだった中で、子どもたちの笑顔にほっとできた。
- ・[d]タイトルと子どもたちの笑顔の写真がとても良かった。活動内容も素晴らしいと思う。
- ・[e]香芝の活性化を目指す若年層のかたの気持ちがよく分かった。特集・市職員の人事と給与について興味を持てなかったため。

3	市政トピックス	1. 内容はいかがですか
		a 興味を持てた・・・6人 b 興味を持てなかった・・・4人
		2. 説明・文章はいかがですか
		a もっと簡潔でよい・・・3人 b ちょうどよい・・・6人 c もっと詳しい説明がほしい・・・1人
		3. 情報量はいかがですか
		a 多い・・・1人 b ちょうどよい・・・7人 c 少ない・・・2人
		4. レイアウトはいかがですか
		a 非常に見やすい・・・2人 b 見やすい・・・5人 c ふつう・・・3人 d 見にくい・・・0人

4—7	特集 平成25年度決算 の 家計簿 かしば	1. 今月号は平成25年度決算について特集しました。内容ご理解いただけましたか。
		a よく理解をもてた…1人 b ある程度理解をもてた…7人 c 分かりにくかった…2人 d 理解できなかった…0人
		2. この記事は役に立つ、または参考になりますか
		a 非常に役立つ…0人 b 参考になる…8人 c どちらとも言えない…1人 d 参考にはならない…1人
		3. 説明・文章はいかがですか
		a もっと簡潔でよい…1人 b ちょうどよい…5人 c もっと詳しい説明がほしい…4人
		4. 情報量はいかがですか
		a 多い…2人 b ちょうどよい…6人 c 少ない…2人
4—7	特集 平成25年度決算 の 家計簿 かしば	5. レイアウトはいかがですか
		a 非常に見やすい…0人 b 見やすい…6人 c ふつう…4人 d 見にくい…0人
		6. 1でaまたはbと答えたかたへ よかった点や感想、さらに改善する点など
		・棒グラフや円グラフで分かりやすかった。 ・指標でチェックするというのは分かりやすいかなと思います。用語解説も分かりやすいと思う。 ・用語解説があり、興味を持って読むことができた。 ・見やすく分かりやすかったが、内容が薄いと感じた。歳入と歳出の比較グラフを1ページにまとめ、もう一步突っ込んだ分析をすると良いのでは。 ・助成金、補助金事業などほかにどんな種類があり、1事業に対しての申請数と補助金額なども計上してもらえば、市民、事業者なども申請しやすくなる。
		7. 1でcまたはdと答えた方へ 他にどういった情報があればもっと興味をもてましたか。
		・数字の羅列が続いており、あまり読む気になれなかった。どうしても広報しなければならぬ情報なのか、webページでの共有などではないのか疑問。「読み物」ではないと思ってしまった。

8-9	ふおと☆かしば	1. 一番興味を引いた記事は何ですか
		a 住民みんなで防災訓練・・・2人 b 第3回香芝検定・・・1人 c 関屋地域まちおこしイベント・・・4人 e 葛城地域お楽しみバスツアー・・・3人
		2. 写真はいかがですか
		a とてもよい・・・5人 b ふつう・・・5人 c よくない・・・0人
		3. 文章は、その場の状況がよく伝わりますか
		a とてもよい・・・4人 b ふつう・・・6人 c よくない・・・0人
		4. レイアウトはいかがですか
a 非常に見やすい・・・2人 b 見やすい・・・3人 c ふつう・・・5人 d 見にくい・・・0人		
12	イキイキ！香芝っ子 空き缶リサイクルで花も 心も育つ	1. 文章はいかがですか
		a もっと簡潔でよい・・・0人 b ちょうどよい・・・10人 c もっと詳しい説明がほしい・・・0人
		2. 写真はいかがですか
		a とてもよい・・・6人 b ふつう・・・4人 c よくない・・・0人
		3. レイアウトはいかがですか
a 非常に見やすい・・・3人 b 見やすい・・・4人 c ふつう・・・3人 d 見にくい・・・0人		

●その他、今月号でお気付きの点や感想などがありましたら、お書きください。

【全体評価・印象】

- ・13ページからの「かしばお知らせ版」が良かった。
- ・お知らせ版掲載号なので見やすかった。
- ・表紙の写真は説明を読むまで分からなかった。
- ・「行政の事務連絡」と「市民の写真」だけで、正直興味のわく記事がなかったので残念だった。日常生活にまつわる「へえ～なるほど」と思わせる記事がほしい。(ノーベル賞にちなんだ青色LEDや冬の乾燥対策、寒さ対策、大掃除、恵方巻の歴史 など)
- ・「もう少し気持ちよく読めて、楽しみながらモニターできる広報紙を届けてよ！」そう言いたくなるような12月号。市民感覚から相当に外れて、市民の“広報紙へ期待”を何と心得ているのか改めて問い直したい。市役所にとっての…ではなく、市民にとっての広報紙への期待とは…である。
- 誰に向けて・何のために・何を・どう伝えていこうとするのか、その真意が伝わってこない。これで“分かりやすく、親しみやすい広報紙…?”本号は「市民に向けて、行政の形式確保のために、行政情報のごく一部を、市民には分からなくても構わないから、いつもの通りに報告しとこうか…」市役所目線に徹した駄作の12月号、と評しておく。
- ・構成そのものが“市民”広報紙の体をなしていないスカスカのコンテンツ。旧態依然の「かしばの家計簿」「人事・給与」。条例に従った報告の裏側は、何のことはない著しい手抜きそのもの。日常生活とは関わりのない、実感の伴わない数字の羅列。財政の専門家でもない市民に、これで行政の何を理解せよと言うのか。読者の目を止める工夫がない、読むところがない、温かみがない。分からない…。免罪符を得るために、報告事実を残すだけの広報紙など市民には不要である。知恵も工夫もなく、十年一日のごとく毎年同じ作業を繰り返す編集諸氏に、悲しいまでの落胆と憤り、いや同情心をさえ感じさせてくれる。
- ・「お知らせ版」との合体なら余計なこと、1冊全体の構成バランスに配慮がほしい。28ページ全体が行政関連情報のオンパレード。取材モノはわずかに3ページ・2件、内2ページはイベント関連。これでは“手抜き”と言われても仕方がない。12月号は、周知・有りもの情報の収集・整理と編集で手一杯だった…? だとしても、取材所・編集者の熱意を注いだページが見当たらない。市民の顔と活動が見えない。その志さえ伺えない作品は何としたことか…。
- ・広報紙は「行政情報」と「地域情報」の集合体。「市民と地域と行政」三者トライアングルの中心に「香芝市・まちづくり」の目指すものを掲げて、三者の“点”と、三者をつなぐ“面”から、バランスのとれた企画構成が配置されなければならない。その視点が欠けたこの一年、市民の脈動も息吹も感じられない広報紙は後退の一途で、本来の姿から質的低下の下り坂を転げ落ちてきた。
- ・広報紙に求める市民の期待と満足度をどう認識し、把握しているのだろうか。そんなことはお構いなしに、「行政情報の周知一辺倒。これが我が道・最善の道」とばかりに突き進む紙面。こんな広報紙を一方的に押し付けられる側はたまったもんじゃない。流行の言葉でいえば、“民意”。編集事務局の頭をここからリセットし直す必要がある。形ばかりで内実の伴わない広報紙などお断りである。そんな広報紙が送られてきて「良かったところ・悪かったところ、ためになった」と、末節意見をいくら集めてみても、本質の立地点がズレている限りそれは表層的で皮相的な意見集約でしかない。市民・モニター員を少し甘く見ていませんか？
- 編集の基本・心構えとモニター制度のありように関わる核心部分である。次年度に向けて早急に再構築されんことを望む。
- ・ハザードマップが付録されていたが、広報紙では防災については一切触れられていなかった。どうせなら、9月号の時点で、ハザードマップも付録しておいたほうが読者は熟読していたのではないかと思う。

【市政トピックス】

- ・群馬に旧石器文化の博物館があることを初めて知ったが、今後両博物館が共同企画して旧石器時代の資料などの展示をすることにより、その時代の生活習慣などがよく分かるのではないかと思う。
- ・学術的にも価値が高く、かつ、ほかに例を見ないような非常に斬新な連携協定である。今や“連携”という相互協力・相互理解の概念が「地域－全国－全世界」で当たり前のこととして受け止められている時代。前向きで建設的な話題紹介である。この連携協定の成果がいつかまたリポートされることを期待する。

【ふおと☆かしば】

- ・写真と文字のレイアウトも良くとても読みやすかった。
- ・いつもより多かったので写真が見やすかった。
- ・広報紙全体の枠組みに照らせば、都合に合わせた苦肉の策とも映る見開き2ページ。話題も写真もふんだんに…とは言え、行事4題報告で構成の本質は変わっていない。
- ・バスツアーは目新しい話題、まちおこしは微笑ましい地域話題。防災訓練と併せて地域紹介につながる好材料で、恒例の定番行事にはない素材の良さがうかがえる。
- ・第3回香芝検定の写真は、受検されるかたの一生懸命さが伝わってきてよかった。

【市職員の人事と給与】

- ・興味が持てた。
- ・市職員の処遇、給与・勤務条件などの公表自体に異論はないが、条例規定とは言え何か“覗き見趣味的”で居心地が悪い。これ以上の工夫はないのかもしれないが、広報紙にこういうページが入ること自体に違和感がある。先の「予算執行状況」と併せれば、余計その念が強い。必要なことではあるが、公表の内容・形式はもっと何とかできないものか。他の市町村ではどのような形で公表しているのだろうか…。
- ・市職員の人事給与については、民間企業の平均との比較もできるのであれば、掲示してほしい。

【イキイキ！香芝っ子】

- ・ユニークな環境学習の実際と児童の取り組みが手に取るように浮かぶ。素晴らしい教科外活動として拍手を送りたい。この活動は鎌田小学校の最大の“売り”であり、“目玉商品”である。こういう活動は今まで関係者内だけの話題で終わってしまっていたのか…。各校それぞれの独自性を生かした活動の紹介とアピールにつながる「イキイキ！香芝っ子」面目躍如の1ページである。